性同一性障害医療ミス訴訟

第2回口頭弁論

リーフレット第4号 20070707

2007.07.19（木）16:30～
@京都地裁311号法廷

ヨシノ支援プロジェクト／スクドモ
「救い難き理想主義者ども」

第一回口頭弁論報告（2007.06.22）

6月22日、第一回口頭弁論がありました。

40名弱の方にお越し頂き、小法廷の傍聴席は満員となりました。雨の中、朝早くからお運び頂いた皆さん、本当にありがとうございました。

第一回目は書面の交換だったのですが、被告・大阪医科大側は欠席しました。

大阪医科大は「答弁書」で、「ヨシノユギの訴えを棄却する判決を出してほしい、なぜ棄却してほしいかという理由は追って述べる」という言い分を提出してきました。

つまり、全面対決の構えです。始めから原告の主張を認める被告はいませんから、この言い分は予想していた通りです。しかし資料が何も出ていませんから、第一回口頭弁論ですることはありませんでした。せっかくたくさん傍聴に来てくださったのに、5分で終わってしまってすみませんでした。

終了後には報告会を行い、弁護士から争点の説明とヨシノからのあいさつ、皆さんとの質疑を行いました。テレビカメラも4台入っていました。

ご参加頂いた皆さん、ありがとうございました。

事務局メンバー・ガハクの「スクドモ的日常」（連載）

◇「ヨシノ支援プロジェクト」

ヨシノユギは、大阪医科大学においてGID（性同一性障害）と診断され、乳房切除を受けました。しかしその結果、医師の説明と全く異なり、患部が壊死するという医療ミスに遭ってしまいました。他にも、精神科医のフォローが受けられないなどの連携ミスによって、心身に重大な痛みを受けました。

このプロジェクトは、GID医療を問い直すために裁判を決意したヨシノを支援するために、友人たちによって結成されました。現在病院側は、一切の過失を否認しています。

尊厳と生存をかけたこの闘いに、ご理解とご支援をよろしくお願いします。

◇賛同人、カンパを募集しています

sukudomo@yahoo.co.jp
http://www.geocities.jp/suku_domo/
口座名称：ヨシノ支援プロジェクト
口座番号：00920-1-298335